

研究課題番号	5-1904
研究課題名	ディーゼル車排出ガス後処理装置の耐久性能評価手法及び機能回復手法の研究
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	内澤 潤子

1. 委員の指摘及び提言概要

自動車排ガス触媒の劣化メカニズムの解明と初期劣化した触媒の機能回復について有用な知見が得られたほか、加速劣化状況の把握手法の確立や手順書の作成など環境行政に資する成果を上げている。また、特許出願も評価できる。今後は企業などと共同で、触媒活性の再生や回復の技術開発などに期待する。しかし、本研究の結果をどの程度一般化できるのか、環境行政にどの程度、またどのように貢献できるのかが分からなかった。例えば、実際の自動車での触媒診断が可能か、劣化触媒の回復が可能かが実証されていないため、本研究の成果を社会実装するためにはさらなる知見が必要と思われる。

2. 採点結果

評価ランク：A